



内子座 藝於遊



内子座の瓦と打音検査

令和7年12月9日、瓦の打音検査を取材させていただきました。12月に入り、瓦を再使用できるかどうか選別していくため、これまた一枚一枚、調査・確認していく作業が始まっています。ちなみに、内子座の瓦は約27,000枚あるそうです！！

瓦の選別は、目視で欠けやひび割れ、剥離などの瓦の状態を確認するとともに、打音検査といって、一般的には特定の工具（ハンマーなど）でコンクリートや石材などの表面を叩き、発生する音によって内部の状態を評価する手法があるのですが、瓦でも同様の手法で検査が行われています。瓦の打音検査もハンマーで瓦を叩き、音を判断して選別していきます。叩いた時の音の高低もありますが、音が一つであったり二つの音が重なったりと響き方にも違いがあり、それらをあわせて総合的に判断すること。また音だけでなく、叩いた時の手の感触にも違いがあり、内部に割れやひびがあると手に振動が感じられるそうです。瓦を次から次へと瞬時に判断していく様はまさに熟練のなせる業です！



▲写真左：内子座の瓦の一部。こうした瓦の“山”が4つもあります。
写真中：瓦の寸法を測り、写真に収めていきます。

▲創建時に瓦工事を落札した“原”製とみられる瓦も多数ありました。極上の文字も！

内子座楽屋企画展「内子座の瓦」



工事関係皆様のご協力により、内子座楽屋にて瓦展を開催することになりました。12月25日、開催に向け、楽屋に内子座で一番大きな鬼瓦が運び込まれました。紋章があしらわれている部分は大人二人で抱えるのがやっとの重さです。今回のために特別に作成していただいた専用の台の上で6つのパーツが組み合わされ、鬼瓦が完成。そのほかにも、“狐”の形をした留蓋瓦など多数展示しています。打音検査も体験できますよ。皆様のご来場をお待ちしています。

□会期：R8.1.3～R8.4.5（予定） □入場：200円（内子町民無料）